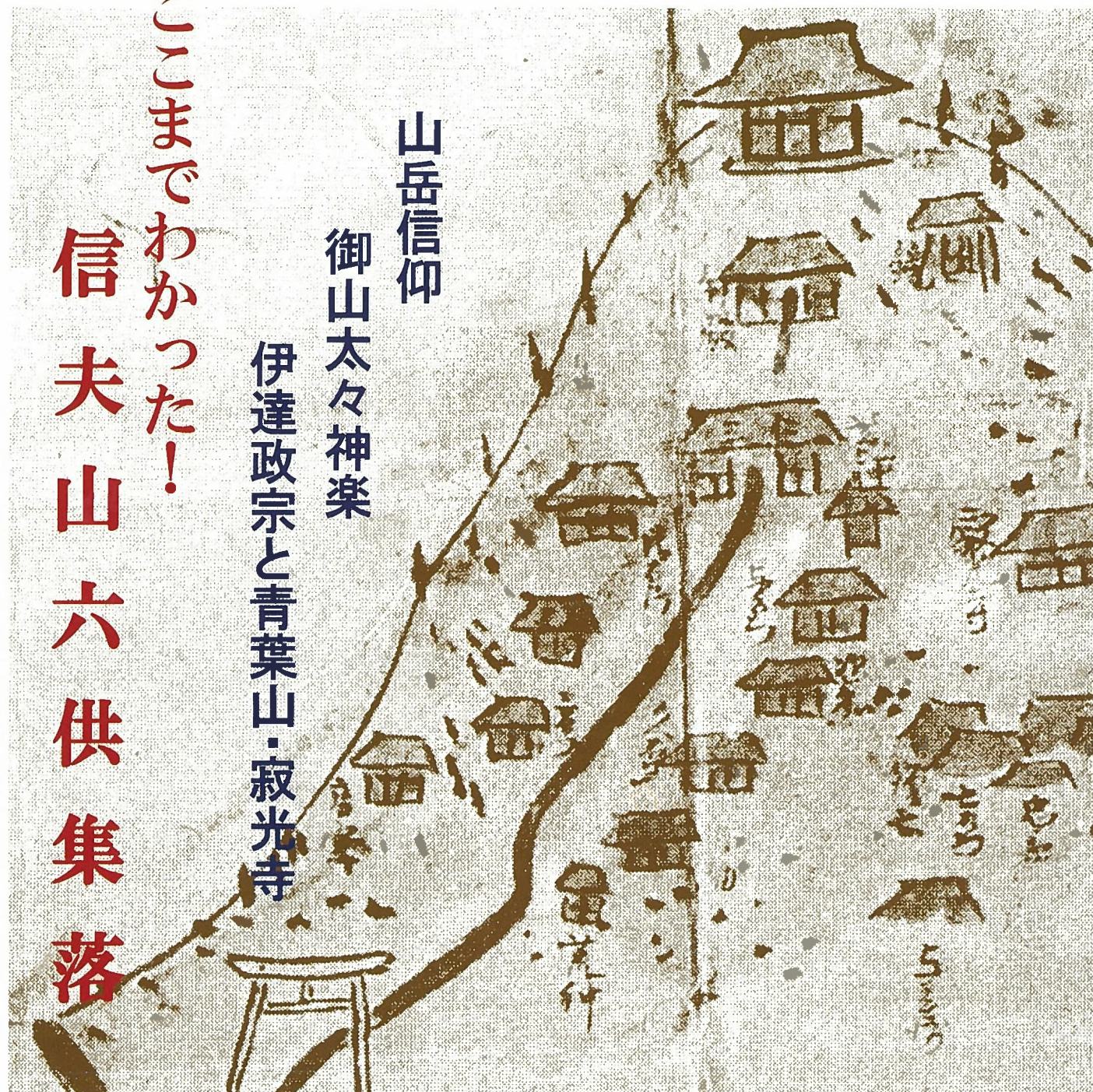


信夫山六供集落調査報告会

懸田弘訓 高橋恒夫 藤田定興 村川友彦



ここまでわかった!

信夫山六供集落

山岳信仰

御山太々神楽

伊達政宗と青葉山・寂光寺

奥州信夫郡福島領御山村絵図(元禄16年)【市史編纂室蔵】

●平成30年**2月8日(木)** 13:30~15:30

往復はがきでの申し込みが必要です。
詳しくは裏面をご覧ください。

- アクティブシニアセンター・アオウゼ 多目的ホール
- 〒960-8051 福島市曾根田町1-1 MAXふくしま4階
- 主催 福島市教育委員会
- 問合せ先 文化課 文化財係 024-525-3785



信夫山六供集落調査報告会

福島市では、信夫山の「六供集落」に焦点を当て、平成28年度から調査を実施しています。六供集落周辺の神社・寺院、石碑、関係する古文書などの調査結果を報告。様々な視点から六供集落の歴史を紐解いていきます。

「六供集落」とは？

南麓の黒沼大明神から羽黒大権現までの南北約1キロメートルの参道を「御神坂」と呼ぶ。その急峻な参道の両側に形成された雛壇式の集落。

「六供」とは？

神仏混合の時代に神の供養に奉仕した六人の供僧で、「六供僧」の略とされる。それぞれの屋敷には参拝する持宮があった。六供の祖先は山伏で、羽黒権現の別当寂光寺は信夫山伏の頭であったと伝えられている。

報告者紹介

【懸田 弘訓(民俗)】

県内の高校で教鞭をとった後、県教育庁で文化財保護を担当、県立博物館学芸課長等を歴任。本市文化財保護審議会会長、福島県文化財保護審議会委員等を務めている。

【高橋 恒夫(建造物)】

東北工業大学名誉教授。日本建築史・建築生産史を専門とする。本市文化財保護審議会委員や仙台市文化財保護審議会委員等を務めている。

【藤田定興(工芸・宗教)】

白河市出身。大谷大学国史学科卒。元福島県歴史資料館職員。本市文化財保護審議会委員、白河市文化財保護審議会会長等を務めている。

【村川 友彦(民俗)】

東北学院大学文学部史学科卒。元福島県歴史資料館職員。本市文化財保護審議会委員や福島県史学会会長等を務めている。



* 申込方法 *

往復はがきでの申し込みとなります。左図のとおり必要事項を明記のうえ、お申し込みください。

* 申込締切 *

平成30年1月15日(月)必着

抽選結果を全員にはがきで通知します(1月下旬)。はがきが当日の入場券となりますので、忘れずにお持ちください。

《往信の表面》

【返信の裏面】

〒960-8601 往信 福島市教育委員会文化課 行	福島市五老内町3番1号
こちらの面は 何も書き込ま ないでくださ い。	

【返信の表面】

《往信の裏面》

〒0000-0000 返信 書いてください。 あなたの住所・氏名を	①「信夫山六供集 落」調査報告会 参加希望 ②住所 ③氏名 ④電話番号
--	--